



# 岡山市連合町内会会報

題字：兼松久和

ホームページ簡単検索

岡山市連合町内会会報

検索

発行人：池上正和 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 TEL:086-803-1063 FAX:086-803-1872 編集委員長：近藤俊彦



## 新任会長あいさつ

岡山市連合町内会 会長 池上 正和

よりの会長就任となりました。

学区の連合町内会長として  
経験も浅い私に、この重責が  
務まるか、不安と戸惑いの中  
で会長をお引き受けすること  
としましたが、引き受けた以

上精一杯務める覚悟でござい  
ます。

秋涼の候、町内会の皆様に  
おかげましては益々ご清栄の  
ことと拝察申し上げます。

平素から岡山市連合町内会  
の運営及び活動にご支援とご  
理解を頂きまして、厚くお礼  
を申し上げます。

さて、後1年の任期を残さ  
れ、6月30日付けで、15年間  
にわたり岡山市連合町内会の  
会長を務められた兼松久和氏  
が退任されることになりました。

そこで後任の会長選任にあ  
たり、来年の総会までの兼松  
会長の残任期を、私にせよと  
の理事会決議が行われ、総会  
の承認をいただき、7月1日

しかし、今年度は、岡山市  
連合町内会創立50周年という  
大きな節目の年です。記念事  
業として、来年2月1日の創  
立50周年記念大会の開催と記  
念誌「岡山市連合町内会半世  
紀のあゆみ」の発行に実行委  
員会を立ち上げ、最重要事業  
として取り組んでいるところ  
であります。

また、地域の実情を熟知し  
た町内会長と、安全・安心ネ  
ットワーク活動とがあいまつ  
て、自主防災組織率の向上、  
災害時の避難場所への誘導方  
法や安否確認方法について情

報を共有し、災害被害を軽減  
する対策への取り組み。この  
取り組みを昨年3月11日の東  
日本大震災を教訓として、我  
が岡山市連合町内会でも強力  
に推進してまいりたいと思ひ  
ます。

また、先進都市の行政や住  
民自治組織の活動状況等の視  
察を行うとともに、地域住民  
の多様なニーズに的確に対応  
できるよう研鑽に努め会員の  
資質向上への取り組みを進め  
ます。

さらに、温故知新の観点か  
ら、岡山の開祖宇喜多氏、中  
興の池田氏、幕末から維新に  
活躍した手代木氏等の縁によ  
る姉妹交流や友好交流の推進  
と郷土史の調査、研究による  
新しい「まちづくり」の糧とす  
る等々、24年度事業計画に基  
づく活動を展開して参ります。

この度の会長交替に伴い、

一部体制の拡充を図りました  
が、今年度は創立50周年とい  
う、まさに歴史に残る年と  
なっています。この大きな節  
目を成功させるには、会員の  
皆様方と一緒に取り組み以外にはございません。  
どうか皆様方の一層のご支  
援、ご協力を賜りますよう、  
お願ひいたします。会長就  
任の挨拶といたします。

会報20号 目次						
新任会長あいさつ	1	1	1	1	1	1
退任ご挨拶						
平成24年度定期総会概要						
岡山区長手代木勝任の 秘められた波乱の生涯・後編	3	6	6	6	6	6
常任理事会構成員視察研修	8	8	8	8	8	8
三市自治組織姉妹交流会に参加	9	9	9	9	9	9
学区・地区の話題	10	10	10	10	10	10
クイズ	13	13	13	13	13	13
防災先進地視察	14	14	14	14	14	14
岡山市連合婦人会との懇談会	15	15	15	15	15	15
福山市自治会連合会訪問	16	16	16	16	16	16
会報編集委員長座談会	19	19	19	19	19	19
コラム	20	20	20	20	20	20
宇喜多秀家公ゆかりの地 ・岐阜県揖斐川町との友好交流をめざして	22	22	22	22	22	22
岡山市連合町内会・岡山県自治会連合会 全国自治会連合会の動き	23	23	23	23	23	23
創立50周年記念事業を実施します	24	24	24	24	24	24
編集後記						

# 退任ご挨拶

岡山市連合町内会 名誉会長 兼松 久和



振り返ってみますと(概略)

岡山市長選挙立候補者へ公開質問状(初)

「平成9年」連町バッヂ作成・市議会へ議員定数削減及び報酬削減要望(第1回)

「平成22年」韓国富川市上洞自治委員会幹部と懇談・「れんげ賞」創設

「平成11年」機関誌おかやま連町だより創刊

「平成23年」中国国家行政学院訪日研修団来岡懇談・手代木勝任岡山区長の縁により会津若松市市区長会と友好交流提携締結、同祝賀会開催・平成24年度から共済制度導入決定

「平成13年」連町旗作成

「平成14年」平成17年の第60回岡山国体へ向けて「晴れの国おかやま国体岡山市民運動推進協議会」設立

「平成15年」岡山市連合町内会創立40周年記念大会・西大寺地区21組織を13に、足守地区5を4に統合

「平成17年」岡山、鳥取姉妹交流提携締結

「平成18年」岡山、姫路姉妹交流提携締結

「平成19年」第1回岡山市町内会長等懇談会・組織強化検討委員会設置

「平成20年」片山晋氏藍綬褒章受章(町内会功劳・初)

「平成21年」定年制導入・組織のあり方検討委員会設置・大臣表彰へ・顕彰制度の充実

を要請

「平成14年」全国自治会連合会岡山大会

「平成17年」全国自治会連合会創立20周年岡山大会・栄典制度(藍綬褒章)適用

その他、国、県、市町村の各種審議会等へ多くの委員を派遣するとともに複雑多岐にわたる事業活動を展開して参りました。取分け昨年3月11日の東日本大震災では多くの犠牲者となり物心両面の甚大な被害を蒙りました。早速義援金を募りましたところ多くの方々がお心を寄せてくれました。

また、8月29日、世話人会の呼びかけにより、「兼松久和氏ごくろうさん会」を開催いたしました。

当日は、260名もの方に参加いただき、高谷岡山市長の世話人代表あいさつ、石井県知事をはじめ各界からの参加者のあいさつ、記念品・花束贈呈に続き、兼松氏ご本人がお礼の言葉を述べ、岡山市連合町内会の益々の発展に期待を寄せられました。

長い間ありがとうございました。  
兼松様

平成9年5月から15年の永きにわたり、岡山市連合町内会会長をお務めくださいました。兼松氏のご功績に感謝申し上げ、その功業をねぎらう場として、8月29日、世話人会の呼びかけにより、「兼松久和氏ごくろうさん会」を開催いたしました。

清凉の候、町内会長各位にはご清祥の段、大慶至極に存じます。

平素は、包括的な住民自治組織である其々の地縁による団体に於いて地域的な共同活動に尽瘁され良好な地域社会の維持及び形成に向けて縦横減私のご活躍をいただき平穏で安らぎのある地域社会が構築されております。そのご労苦に対し敬意を表しますとともに感謝申し上げます

さて、ご挨拶が遅くなりましたが私こと平成24年6月30日付にて平成9年度から15年間在任いたしました岡山市連合町内会会长を退任いたしました。

## 全国自治会連合会関係

「岡山県自治会連合会関係」  
「平成11年」岡山県自治会連合会創立・創立と同時に会長就任・正副会長と知事との定期的懇談会(第1回)

「平成22年」岡山県自治会連合会創立10周年記念大会

全国自治会連合会会長並びに岡山市連合町内会理事会の要請により、引続き岡山県自治会連合会会長を務める運びとなりましたので宜しくお願い申し上げます。

おわりに岡山市連合町内会のますますの発展と関係各位のご健勝とご活躍を祈念し退任のご挨拶といたします。





岡山市連合町内会は、平成24年5月28日午前10時からメルパルク岡山において、市内学区・地区連合町内会長等86名の出席のもと、平成24年度定期総会を開催した。

はじめに、兼松久和会長があいさつを述べた後、岡山市連合町内会表彰規程に基づき、永年町内会活動に功績のある方々に対し、兼松会長から表彰状、感謝状及び記念品の贈呈が行われた。

続いて、高谷茂男岡山市長、則武宣弘岡山市議会議長から祝辞をいただき、議案の審議に入った。

①平成23年度事業報告  
②平成23年度収支決算報告及び監査報告  
③平成24年度事業計画（案）  
④平成24年度収支予算（案）  
⑤会長等の承認

岡山市学区（地区）連合町内会は、包括的な住民自治組織であり地方分権型社会を形成する究極の基盤である。平成22年度定期総会において安全安心ネットワークは、当会の傘下の組織である旨決議されている。従って、当会は、安全安心ネットワークの代表者は、岡山市学区（地区）連合町内会会长が務めることができ、只管、地域活動を展開して、行政との協働による魅力溢れる「まちづくり」を推進し政令指定都市岡山の発展に寄与しているところである。

さて今年度は、岡山市連合町内会創立50周年の節目の年である。当会の輝かしい歴史と伝統に培われた半世紀の歩みを回顧し、当会のさ

# 平成24年度定期総会概要

らなる発展に向けて大々的に記念事業を展開する。現在、実行委員会を立ち上げ鋭意検討中である。

また、当会は創立以来、安寧な地域社会の構築に向けて開いているが、安全安心ネットワークに対する行政の思惑と、当会の認識に隔たりがあることは否めない。当会は、平成22年度定期総会において安全安心ネットワークは、当会の傘下の組織である旨決議され、従って、当会は、安全安心ネットワークの代表者は、岡山市学区（地区）連合町内会会长が務めることができる。この結果としての自覚のもと岡山市民の総ての究極の目標である

## ①魅力溢れる「まちづくり」

や大型イベントへの参画

岡山県、岡山市等の各種審

議会等へ委員を派遣し、住民

生活に直結する諸問題につい

て包括的住民自治組織の代表

として、意見を開陳するとと

もに、岡山市づくり推進事

業審査会委員としても積極的

に取組み、区制による都市内

分権型社会の推進に向けて中

心的な役割を担う。民意を反

映するのは町内会（自治会）

であるとの自覚をもって活動

を展開する。

## ②会員の資質向上について

地域を統括、調整するリーダーとしての見聞を広めるた

め時宜を得たテーマにより先

進都市の行政や住民自治組織

の活動状況等の視察を行うと

ともに、地域住民の多様なニーズに的確に対応できるよう研鑽に努める。

## ③市長、市幹部及び教育長との懇談

行政との「協働のまちづくり」を推進するため、意見交

換を行い町内会と行政との相互理解と協力関係のより一層の充実を図る。

## ④産官学及び各種団体との交流・連携

幅広い視野から地域づくりのリーダーとしての活動を行うため、行政、産業界教育界及びボランティア組織などの各種団体との交流、連携を推進する。

## ⑤姉妹交流提携の促進と郷土史の顕彰

温故知新の観点から、姉妹交流提携都市及び友好交流提携都市の自治会との縛を深めるとともに郷土史の調査、研究により新しい「まちづくり」の糧とする。

## ⑥岡山県自治会連合会・全国自治会連合会との協調

全自連、県連とともに10年余にわたり当会が中心的な役割を担い、大きな成果を挙げてきたが、向後は協調路線へ転換し、連合体のあり方について考察する。

## ⑦広報活動の充実と市民情

報化の推進

平成24年9月発行の岡山市連合町内会会報は第20号とな

り成人に達したので内容の充

実を図るとともに、創立50周

年記念の特集号として発行

する。

## ⑧男女共同参画社会の推進

女性が町内会の役員として活動しやすい環境づくりについて男女共同参画専門部会において検討する。

## ⑨安全・安心ネットワーク活動への取組み

行政の方針に関係なく、地域の実状を熟知した町内会に

おいて災害時の避難場所への誘導法や安否確認方法について情報を共有し災害被害を軽減する対策を検討。また、自

## ⑩町内会、自治会への加入促進活動

向後の防災対策の参考に資する。

## ⑪議会改革について

が、やや低下傾向に推移していることに鑑み、未加入者へ加入促進活動を強力に推進する。

## ⑫顕彰の実施

会長表彰・感謝状贈呈の他、大臣表彰、全国自治会連合会長表彰、県知事及び岡山市有功表彰、市長表彰や民間の顕彰制度にも幅広く推薦を行い功績を讃える。平成22年度創設した「れんげ賞」も継続する。

## ⑬岡山市連合町内会創立50周年記念事業の実施

合町内会の最重点事業として取組む。記念誌發行。

## ⑭その他

①「市民憲章」を当会発行の印刷物等に掲載し普及を図る。

## ②平成23年度事業の積残し分

については、本年度におい

て可及的速やかに実施する。

年度中途において、事業活動に織入るべき案件が生じた場合は、協議の上執行。

## ③緊急を要する場合は、持回り会議等において対処し、次回の理事会等へ報告。



岡山市連合町内会会长表彰受賞の皆さん

このたび副会長に就任しました。池上会長を支え、岡山市連合町内会の一層の活動推進に努めてまいる所存です。引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



副会長 西谷萬二

6月30日副会長を辞任しました。在任中の力不足を反省しあ詫びします。翌日付で、常任相談役に任命されました。微力ながら努力します。引き続きご指導ください。



理常任相談役事岡恒夫

昨年度総会において副会長の大任を拝命いたしました。世の中が日々移り変わる状況を見据え、粉骨碎身の気持ちで頑張りますので、よろしくご指導、ご協力をお願いいたします。



副会長 分島 良俱

7月1日副会長に就任いたしました。浅学非才の身ではございませんが、重責を全うすべく岡山市連合町内会の活動に精励する覚悟でございます。よろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申します。



副会長廣田省吾

よろしくお願ひします

★ ★ ★ 役員紹介 ★ ★ ★

# 電子町内会に 参加しませんか



電子町内会は、町内会で作るウェブサイト（ホームページ）と会員で交流する電子町内会システムの2つから成り立っています。

## 【町内会ウェブサイト】

- ・町内会紹介

ウェブサイト管理者を中心に町内会で  
ウェブページを作成し公開します。

## 【電子町内会システム】

会員専用ページ。町内会会員の方同士で情報交換や相談などができます。

## 電子町内会とは

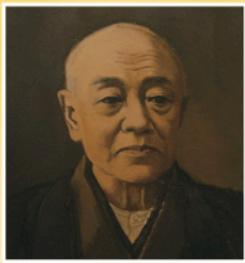
インターネットを使って、ご近所さんとのコミュニケーションをお手伝いするシステムのことです。

【問合せ先】  
岡山市役所 安全・安心ネットワーク推進室

● 電話 086(803)1063

- E-Mail [anzenanshin@city.okayama.jp](mailto:anzenanshin@city.okayama.jp)

『歴史とは現在と過去との対話である』



## 岡山手代木勝任の歴史と京そして岡山

『幕末から維新・会津と京そして岡山』

岡山市連合町内会 名誉会長 兼松 久和

前編（本紙第十九号掲載）最終章抜粋

勝任等は、死一等を減じ美濃高須藩に永の預けとなる。

勝任の国事に関する縦横滅私の活動は、文久・元治・慶応時代が最も旺盛を極め維新後の履歴は、その余波に過ぎないが、これを省くと勝任は語れない。

◆（一八七二年二月特赦）

岡山県内郡長岡山區長としての業績は『後編』掲載予定

◆（一八七二年明治五年二月特赦）

青森県預けとなり五年振りに妻の元に帰つていた勝任は、青森県から新政府任官の命を受ける。直ちに東京に赴き旧主、容保の承諾を得て、左院少議（議会書記官）となり地方行政官としての一步を踏み出す。

その後、香川県権参事（副

知事）となり（一八七四）二月高知県権参事

『前編参照、龍馬暗殺の黒幕』であると云われる勝任が二年八ヶ月にわたり高知県権参事として在任したがその心中

を察するに複雑な思いが交錯する

のは筆者のみであろうか。

ただ龍馬死亡から数年しか経過しておらず、幕末を生きた龍馬は、新しい時代を切り開いた土佐の英雄であるとの評価は後世、研究者たちにより脚光を浴びたものであり、当時の時代背景としては龍馬の死亡原因等には詮索する暇がなかつたものと思われる。』

◆（一八七八）明治十一年二月特赦、岡山県川上郡長、以後賀陽郡長、西北条・東南条・東北条郡長を歴任し岡山県の地方行政に携わり実績を挙げた。

◆（一八八三）明治十六年岡山區長（現在の市長）に就任し、明治二十二年市政施行まで六年間在任した。

◆（一八八九）明治二十二年岡山区長退官後、西北条・東南条・東北条郡長

てしろぎかつどう

秋められた後編

忠三書記官が視察に訪れ案内

忠三書記官が河野書記官の上役、千坂高雅岡山県知事は米沢藩出身、地元津山地方を担当する西北条・東南条郡長の手代木勝任は元会津藩士。

も戊辰戦争で新政府軍を相手に戦った佐幕派で、その頃から

の盟友であつた。

また岡山区長退官後、当時の福島県知事の旧会津藩士日下義雄が退官した際、その後任として、白羽の矢が立てられたが、既に岡山市民に成り

功績は讃えられた。

郡長として津山へ赴任して名な白虎隊を生んだ会津武士だけあるな」と勝任の崇高な会津魂に感嘆し、末長くその山市の発展の礎を築いた。

当時の岡山区民は「あの有名な白虎隊を生んだ会津武士だけあるな」と勝任の崇高な会津魂に感嘆し、末長くその山市の発展の礎を築いた。

功績は讃えられた。

また岡山区長退官後、当時の福島県知事の旧会津藩士日下義雄が退官した際、その後任として、白羽の矢が立てられたが、既に岡山市民に成り

功績は讃えられた。

いた勝任は考へていた。戊辰戦争で新政府軍が会津へ攻め込んだ時、会津松平藩の若年寄（重役）として苦しい立場を強いられた。奥羽越列藩同盟三十一藩の核として薩長の新政府軍に立ち向かつたが、会津城を包囲され、停戦開城を依頼するため、密かに米沢藩を訪れた。だが、城外飯盛山で白虎隊の少年達が、自刃するという悲劇も起こつた。

この項は『岡山人じやが

（吉備出版）日高一氏著「津

津・米沢藩士」より引用

九月津山城本丸北側の腰巻櫓石垣が老朽化のため崩壊した。

忠三書記官が視察に訪れ案内したのが矢吹正則郡書記であつた。河野書記官の上役、千坂高雅岡山県知事は米沢藩出身、地元津山地方を担当する西北条・東南条郡長の手代木勝任は元会津藩士。いずれも戊辰戦争で新政府軍を相手に戦った佐幕派で、その頃から

の盟友であつた。

河野書記官が石垣崩壊の視察に訪れてから十三日後の十一月七日、手代木郡長は、矢吹の保存嘆願書を携えて県庁を訪ねた。

千坂知事は、作州津山からはるばる出県した手代木を温かく迎えた。

河野書記官から津山城石垣崩壊の概要や、地元の意向は聞いていた。何よりも盟友手代木に会えた嬉しさが込み上げていたであろう。

二人には仕事向きの話のほかに、共通の思い出があつた。手代木が会津戦争終結で米沢藩を訪ねたこと。新政府東征軍大隊司令・総督府參謀の板垣退助に会つて降伏による戦争終結を決めたこと。手代木が会津戦争終

解を得た。勝任の胸には「石垣だけでも保存し、旧津山藩士たちに心の安らぎを与えた

い」という気持ちがあつた。

同時に城郭を残すことでの下町津山の姿を次世代に伝えたいという思いもあつた。

河野書記官が石垣崩壊の視察に訪れてから十三日後の十一月七日、手代木郡長は、矢吹の保存嘆願書を携えて県庁を訪ねた。

千坂知事は、作州津山からはるばる出県した手代木を温かく迎えた。

河野書記官から津山城石垣崩壊の概要や、地元の意向は聞いていた。何よりも盟友手代木に会えた嬉しさが込み上げていたであろう。

二人には仕事向きの話のほかに、共通の思い出があつた。手代木が会津戦争終

解を得た。勝任の胸には「石垣だけでも保存し、旧津山藩士たちに心の安らぎを与えた

い」という気持ちがあつた。

同時に城郭を残すことでの下町津山の姿を次世代に伝えたいという思いもあつた。

河野書記官が石垣崩壊の視察に訪れてから十三日後の十一月七日、手代木郡長は、矢吹の保存嘆願書を携えて県庁を訪ねた。

千坂知事は、作州津山からはるばる出県した手代木を温かく迎えた。

河野書記官から津山城石垣崩壊の概要や、地元の意向は聞いていた。何よりも盟友手代木に会えた嬉しさが込み上げていたであろう。

二人には仕事向きの話のほかに、共通の思い出があつた。手代木が会津戦争終

解を得た。勝任の胸には「石垣だけでも保存し、旧津山藩士たちに心の安らぎを与えた



勝任墓碑に刻まれた戊辰の盟友 千坂高雅知事の銘文

◆『勝任の人物像』文久より明治の初に至る国事多難の際に当たり、薩長二藩と拮抗して東西の大関は、言うまでもなく会津藩である。維新の変革は、薩長と会津との対抗運動と言つても過言ではない。

◆『勝任の人物像』文久より明治の初に至る国事多難の際に当たり、薩長二藩と拮抗して東西の大関は、言うまでもなく会津藩である。維新の変革は、薩長と会津との対抗運動と言つても過言ではない。

◆ついに、勝任翁は岡山へ転籍し（一九〇四）明治三十七年六月三日病没。享年七十九歳であった。岡山市東山墓地の墓碑には、親交の深かつた旧米沢藩士千坂高雅が贈つた親愛の情のこもつた名文が刻まれている。

◆（一八九四）明治二十七年退官（六十八歳）その後は、岡山で和歌に親しんだ。正六位勲六等に叙せられる。

勝任は、この一方の大立物である会津藩の公用人として公事に鞍掌し、累進して若年寄（家老格）となり一藩の枢機に当たり、戊辰の役に藩の罪責を一身に負い、美濃の高須に禁固されたが、明治五年に赦され、香川県権参事より転々として岡山区長となり岡山の土となつた。

その強健雄偉なる軀幹と意思の堅実を表す巨眼は今なお岡山市民の記憶にある。

勝任は、終身会津藩主松平容保の遺臣を以て自らを任じ、薩長藩閥に対して極端な憎悪を持ち続けた。主家との関係から全く処士として身を潔くするのを許されないため、微禄を受けるのも止むを得ない境遇になつたとはいえない。その精神の體まで武士的我慢主義であったことは、勝任に接した者は明らかに認め、人に伝えるに至る。

岡山県民に知られる勝任は一介の下級行政官吏に過ぎないが、松平容保が京都守護職時代における勝任の活動は確かに明治維新の歴史の半面を語るものである。

また退官後、会津へ帰らず岡山人

長女元枝は、備中庭瀬村平野の太田始士郎に嫁し、次男の収が岡山中学、六高、東大法卒で山一証券社長。次女仲江は、旧米沢藩家老の甘粕鷺郎の妻。三女下枝は岡山中学（朝日高校の前身）校長光岡金雄の妻。其々の係累は岡山在住の方もいるようだが所在は不明。

○特赦 恩赦の一つで国家元首の権限で有罪の決定を受けた者に対するその効力を失わせる。恩赦には特赦のほか大赦、減刑、刑の執行免除、復権の四種がある。

#### 用語解説

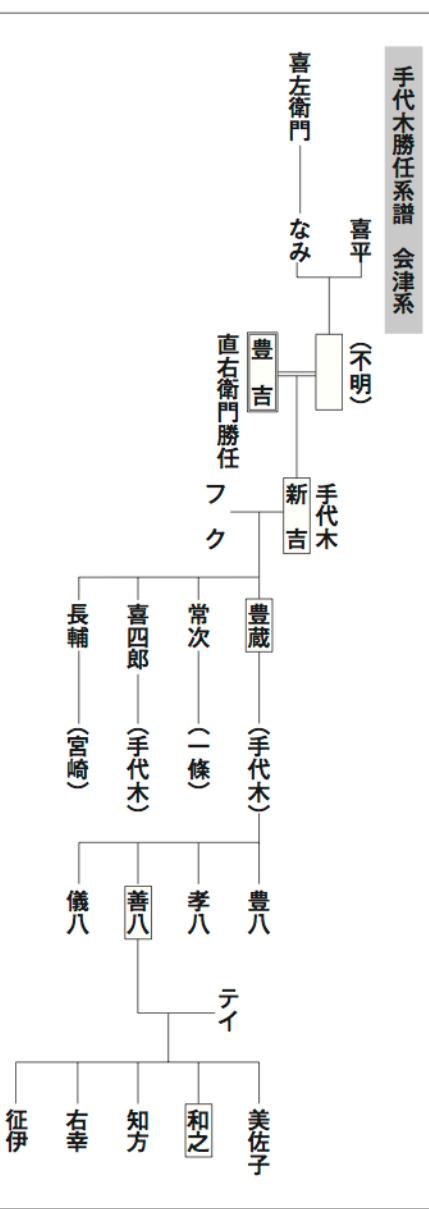
○権参事 明治維新後、藩主は藩知事と名称を変え、その下に副藩知事的役割として権参事一名を置いた。現在の副知事に相当するが、当時は県を仕切る実質的指導者である。廢藩置県により藩知事が廃止され、同時に権参事職も廃止された。

○郡長 明治十一年行政区として岡山区を除き県下三十一郡が置かれ、勝任墓碑に刻まれた戊辰の盟友 千坂高雅知事の銘文

○官選知事 第二次世界大戦後都道府県知事は、住民の直接選挙による公選制となつたが、明治維新から戦前まではいわゆる政府が任命する地方長官（官選）であり上官は内務大臣を主としたが、後には各所管省大臣が上官となる。

#### ○会津魂

会津藩の開祖保科正之の遺訓である徳川宗家に対する忠義が徳川幕府時代を通じて一貫して流れた武士道精神であり、幕末の守護職から戊辰戦争に具現化される。また藩主に対する忠節や藩校日新館塾生の飯盛山自刃も会津魂として今も市民の誇りとなつて



# 常任理事会構成員視察研修会

岡山市連合町内会 副会長 分島 良俱

平成24年5月15日～18日、

岡山市連合町内会常任理事会構成員一行9名は、小雨の中岡山空港を離陸しました。快適な2時間のフライトの後、広大な北海道の地が眼下に広がってきました。新千歳空港に到着後、支笏湖経由で札幌のホテルにチェックインしました。



北海道町内会連合会の取り組みを拝聴

祉大会において、住民主体の福祉活動を進めるため、町内会などの住民自治組織を公社福祉協議会の母体として位置付けることが確認され、その結果を踏まえ昭和37年に道社協は住民組織整備要綱を策定し、道内の市町村社会福祉協議会に対して町会規約（準則）を添えて町内会等の自主的な住民組織の整

翌日、北海道町内会連合会を訪問しました。藤田事務局長をはじめ職員の方に出迎えていただき、早速調査事項の確認や意見交換を行いました。北海道町内会連合会の歩みは次のようなものです。昭和35年、北海道社会福祉協議会（道社協）主催の全道社会福

祉大会において、住民主体の福祉活動を進めるため、町内会などの住民自治組織を公社福祉協議会の母体として位置付けすることが確認され、その結果を踏まえ昭和37年に道社協は住民組織整備要綱を策定し、道内の市町村社会福祉協議会に対して町会規約（準則）を添えて町内会等の自主的な住民組織の整

備と連携を呼びかけました。その後、昭和42年北海道町内会連合会の前身組織（北海道町内会等連絡協議会）が結成され、昭和54年、より強固な全道的連携組織として北海道町内会連合会が設立され、平成20年に創立30周年を迎えておられます。

現在では、未加入者への対策等を講じ、包括的な住民自治組織を目指して努力されていることを強く感じました。その中でも特に、地域の絆づくりと住民主体のまちづくりに全道を挙げて取り組んでおられます。平成2年度にスタートした「ひとりの不幸もみのがさない住みよいまちづくり全道運動」は、一人暮らしの高齢者や高齢者を介護する家族等にとって一番身近な町内会、自治会で「発見」「声かけ」「助け愛」活動を実践していくことを目標に進

められています。ふれあいきいきサロンの開催、防犯パトロールの実施など地域にあつた取り組みが行われております。「いのちのボトル」（岡山市ではあんしんカプセル）配付の取り組みが、市の取り組みに広がった例もあるとのことです。活動を実践する町内会には年3万円が助成され、その原資は共同募金からの助成があたられているということもお聞きし、制度の違いを痛感しました。

その他、平成17年度からは住民による自主防災活動を推進し、連合町内会や単位町内会等で実施する防災訓練や自主防災組織研修会に対する支援事業として年2万円を助成し、「災害に強いまちづくり全道運動」を進めておられます。夏休み期間を利用しての親子防災訓練や、バケツ消火リレーや担架リレーなど楽しんで防災大運動会の開催など各地域で工夫を凝らした活動が行われています。また、災害時の対応をコンパクトに

まとめた「防災ハンドブック」を作成し、わかりやすく図解しておられます。北海道町内会連合会では、独自の取り組みを具体的に進めておられ、組織の違いはあるものの、大いに参考になりました。

研修後は、夕張市を訪れました。かつては「炭鉱の都」と呼ばれ、最盛期の1960年代には12万人もの人々が暮していましたが、現在は人口約1万人。名画のロケ地がそのまま残り、観光資源として活かされている一方、往時の賑わいとは対照的に崩れた家や、閉まつたままの商店など、夕張市の現実を感じさせる風景もありました。



夕張市 石炭博物館前にて



姫路市で開催の交流会

岡山市連合町内会から兼松会長以下18名、鳥取市自治連合会から20名、姫路市連合自治会から26名、合計64名でした。

今までの交流会の目的は、意見交換を行うことにより、お互いが各自の自治活動の参考にするとともに、親睦を図るというものでした。が、今回姫路城の大修理といふ世紀の大事業にあわせて、歴史のおさらいをしようということがでした。

姫路市 岩成会長、岡山市兼松会長、鳥取市 池原会長の挨拶に続き、石見姫路市長から来賓祝辞があり、三市の連携として、観光及び防災協力を取り上げてはどうかとの今までとは若干違った視点からのア

池田侯ゆかりの岡山・姫路・鳥取の自治組織による姉妹交流会が平成19年から毎年行われており、第6回目となる今回は5月30日姫路市において行われました。参加者は岡山市連合町内会から兼松会長以下18名、鳥取市自治連合会から20名、姫路市連合自治会から26名、合計64名でした。

今までの交流会の目的は、意見交換を行うことにより、お互いが各自の自治活動の参考にするとともに、親睦を図るというものでした。が、今回姫路城の大修理といふ世紀の大事業にあわせて、歴史のおさらいをしようということがでした。

8時過ぎ貸切りバスで岡山を出発し、姫路城の近くにある播磨国総社に隣接する総社会館にて10時30分開会となりました。

今までの交流会の目的は、意見交換を行うことにより、お互いが各自の自治活動の参考にするとともに、親睦を図るというものでした。が、今回姫路城の大修理といふ世紀の大事業にあわせて、歴史のおさらいをしようということがでした。

次に、市城郭研究室の村田室長から「姫路城大天守保存事業について」と題して、国宝8棟、重文74棟を有し、世界遺産でもある姫路城の平成の大修理について詳しい説明がありました。

午後から待望の姫路城大修理見学。前日は大荒れの天気で、修理中の姫路城に落雷があり、観光客用のエレベーターがストップしたこと、ニュースでも報じられていましたが、当日は好天に恵まれ、最上階までエレベーターで上り、城全体が仮設で覆われているため外からは眺められない大天守の瓦の葺き直し作業を目の前で見ることができました。その事業費は約28

# 三市自治組織姉妹交流会に参加して

岡山市連合町内会 常任理事 則安 基直

億円。平成26年中には壁の全面修理と構造補強工事も完了し、新装なった美しい白鷺城の勇姿が現われます。

ここまでかなりの強行軍でしたのでバテた方もおられましたが、まだ余力のある者のみ隣の名園、好古園を散策したあと、夕方無事帰岡しました。



交流会参加の皆さん

ドバイスがありました。行政のトップとして、岡山空港の活用及び近い将来起こるであろう大震災への対応を考えておられるようにお見受けしました。

ドバイスがありました。行政のトップとして、岡山空港の活用及び近い将来起こるであろう大震災への対応を考えておられるようにお見受けしました。

次に、市城郭研究室の村田室長から「姫路城大天守保存事業について」と題して、国宝8棟、重文74棟を有し、世界遺産でもある姫路城の平成の大修理について詳しい説明がありました。

午後から待望の姫路城大修理見学。前日は大荒れの天気で、修理中の姫路城に落雷があり、観光客用のエレベーターがストップしたこと、ニュースでも報じられていましたが、当日は好天に恵まれ、最上階までエレベーターで上り、城全体が仮設で覆われているため外からは眺められない大天守の瓦の葺き直し作業を目の前で見ることができました。その事業費は約28

（駅の南側）が大発展しています。

姫路からの参加者の一人から「姫路市民は神戸や明石よりも、むしろ岡山に親近感を持っている」とのうれしい話も聞きました。

蛇足ながら、昭和31年に始まった「昭和の大修理」の真

中最中に小生は大学教養課程のあつた姫路分校で1年半過ごしていました。50年後再び「平成の大修理」に巡り合えた幸運に感慨深いものがありました。

## 三門学区のすがた

三門学区連合町内会  
顧問 平山 要

私たちの学区は、昭和27年に石井学区から分離独立し、日に至っている。改めて【三門】の昔を探つてみると、岡長平著『岡山地名考』に、次のように記載されている。

三門は御庭で……政厅（いまでいう県庁所在地）に違いない。

『御庭』は出雲系の政厅のことだ。

吉田東伍著『日本地理辞典』には、「御野郡に天神社と國神社という式内社（朝廷直属の神社）あり。大國主命を祀る。いまに天神山にあり。その國神社は、現在巖井の宮山に在り、天神社は、いまの天津神社で三門の高御殿（旧西警察署北の山の上）にあつて、俗に「赤宮八幡」と呼んどる。國神社も「国守八幡宮」と言つていた。古い本を見ると、天神社は國神社の境内に在つた、と書いてある……中略。

國守は、御庭「三門」の護衛であり、その兵舎が在つた所に「国守」の地名が残つてゐるわけだ……だから政厅は國神社になる……と。

こうした由緒ある歴史的背景を抱きながら、学区は現在大きく動き出そうとしている。



新装成った学区の大動脈「米倉津島線」

永年の懸案であつた地域内を縦走する中環状「米倉津島線」が、部分的には完成。180号線と接続し、大動脈としての姿を現した。

これに連動するかのようにな、その沿線について「都市計画用途地域の見直し」が検討されている。これが実現すれば、学区の交通環境を始めとして町づくりに新しい風が吹き込まれること間違いなし……と期待される。

そうした動きの中で、連合町内会を核にして各種団体が太い絆でスクランムを組み、地域の振興に搖るぎない相で歩み続けていることをありがたく思つてゐる。

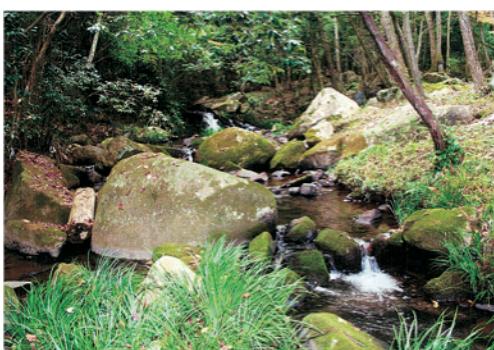
馬屋下学区連合町内会  
会長 吉仲 章

## 鳴谷川遺跡と鳴谷峡の清掃活動

馬屋下学区は、吉備高原の南端に位置した、温暖な気候と自然の豊かな暮らしの中での文化をはぐくんできました。岡山を代表する特産物、清水白桃、マスカットの主産地です。馬屋下は山陽道の重要な街道として、要所、要所に駅が作られ、馬屋下小学校は、以前、駅小学校と呼ばれていました。小学校の近くに宗形神社があり、航海の安全を守る神社と古墳があります。貴重な遺跡の宝庫です。

また、高松城水攻めのとき、鳴谷川の堰止めによる鳴谷川遺跡（岡山県指定）がありまます。鳴谷峡はこの遺跡の辺りから上流にかけて素晴らしい渓谷が続いています。川原に降りると樹木に囲まれた渓谷は、苔に覆われた大小の岩盤が重なり合つて、岩のあいだを縫うように水が流れ、快い水音や静かな空間が広がり、深山を思わせる素晴らしい渓谷に感動します。

平成20年12月、鳴谷峡の清掃活動に、一宮、平津、桃丘、馬屋下、中山育成協議会（環境部）など約80名の地域の方が参加、当日はとても寒い日でした。ロープや滑車などを



鳴谷遺跡から上流鳴谷峡へ

使い粗大ゴミ（テレビ、布団、ビデオデッキ、ガスコンロ、古タイヤ）等、谷底から引き揚げられました。草木の茂みからは、土の中に埋もれたビニールや、弁当がら等がたくさん出てきました。軽トラック8台分を回収しました。こんなに沢山のごみの不法投棄に皆から「怒りの声」がおきました。

「ビデオで伝える備前一宮」制作委員会は、結成以来、環境保全活動に取り組んできましたが、平成23年3月をもつて解散となりました。この素晴らしい鳴谷峡を次世代に伝えて行くため、今後、馬屋下学区の安全・安心を守る会（環境部会）で取り組んでいきます。

## 操明学区と安全・安心ネットワーク活動

操明学区連合町内会  
会長 小川 晃一

我が操明学区は岡山市中区南端に位置し、平成8年に操南学区より分離し誕生した学区です。地域は干拓地であり歴史的な伝統もなく「生涯スポーツ」に注力してまいりましたが、東日本大震災を契機に今では「安全で安心して住める地域づくり」防災・減災活動に力を入れています。

学区の「安全・安心ネットワーク活動」についてご紹介させて頂きます。

当地区は、三方を水に囲まれた地形なので、平成12年から水害を意識し「自主防災会活動」を積極的に進めてまいりました。平成16年の16号台風では満潮時と重なり床上浸水被害を経験し、自主防災活動の必要を痛感しました。今では14団体が連携し隣保共存・共存共栄の地域づくりに向け連合自主防災会組織立ち上げ企業の皆様のご協力も頂き「一時避難場所の確認と防災訓練」を毎年実施しています。

また、防災手段として電子町内会活動のホームページに加えて一斉メール配信（緊急連絡）による避難訓練、不審者対応（青パト・見守り隊出動）など行っています。さらに、過去に作成した防災マップの更新にも取り組み「Gōglie 防災マップ」づくり



土のう作り訓練

緒に作成しホームページに掲載しています。特に、小学校入学時には全児童に防犯ブザーを支給し、親子クラブ・幼稚園・小学校保護者・老人クラブには電子町内会加入促進を行い一斉メール配信（パソコン、携帯電話）を活用しています。

その他、ふれあい行事は、幼小中PTA保護者より度々の行事希望を受け春は桜祭り、夏は体育祭、秋は文化祭（敬老会）、冬はクリスマス作戦、そして防災訓練を行ない、三世代交流を心がけています。

次に、地域福祉、健康づくり分野では高齢の方々が地域との関わりを持てるようになり老人クラブ加入促進、健康寿命増進活動を意識して取り組んでいます。

また、昨年は被災時の弱者救済手段として高所にスピーカーを取り付け避難誘導が可能かどうか移動無線利活用の実証テストを行いました。

防犯・交通安全の活動では、危険個所マップを保護者と一緒に作成しホームページに掲載しています。特に、小学校入學時には全児童に防犯ブ

を進めています。

次に、地域福祉、健康づくり分野では高齢の方々が地域との関わりを持てるようになり老人クラブ加入促進、健康寿命増進活動を意識して取り組んでいます。

太伯学区連合町内会  
会長 生内 昭泰

## 我が町の宝物

太伯学区連合町内会  
会長 生内 昭泰

我が町太伯学区の朝は、「おはようございます・・・おはよう」の大きな声での挨拶から一日が始まるのである。これは小学生達の登校風景であり、見守り隊総勢27名そして青パト隊（7台）のおじさん達との会話である。

今日は荷物が多いの」「はい」横断歩道にはPTAのお母さんが立ち、気を付けてね「はい」可愛い声で答えてくれる。

安全・安心ネットワークの組織には学校部会と地域部会とがあり、また組織外のボランティアの方も参加し、それぞれの役割が果たされている。

太伯学区は832世帯の家族で繋がっている地域で、段々と高齢化していく中、地域を活性化していくくことで、子供から大人までスポーツで繋がっている「スポーツ振興会」そして夏祭り、敬老会、梅まつりと若者から高齢者まで地域住民がこの町に住める楽しさを計画実行する担当である「コミュニティ協議会」とその他の各種団体・グループとして52の構成団体が組織相互で連絡を密にし、学



登校時の見守り隊

を基本としており、防犯活動はもとより防災活動に於いても実現的な取り組みを行っています。

また近年ウォーキング大会として学区内の「太伯の由来」と題して小さな名所旧跡をたずね歩き、案内者の講師より歴史のお話を聞きながら大人達は過去の思いがよみがえり、子供達はメモを取りながらこの経験を次世代に繋げてくれる役目達である。

太伯学区は、豊かな田園地帯で「歴史と梅とミルクの里」として学区の活性化と住み良いまちづくりを目指し、子供達と大人の心のふれあいを大切にし「心の通い合う住み良い町づくり」を掲げて頑張っています。

## なださきふるさとまつりを後世に

彦崎学区連合町内会  
会長 橋本 進

なださきふるさとまつりに  
出会って早や11年の歳月が経  
ちます。今回のまつりで15回  
目ですが、過去13回は行政の  
手で実施されておりました。

合併特例区が終了すると同時に  
住民の力で、ということに  
なり、町内会を中心に実行委  
員会を立ち上げ14、15回と実  
施して参りました。事務局長  
を命じられ、住民が楽しめて、  
世に伝えていきたいと  
いう思いで実施して参  
りました。

灘崎の名物、瓢箪、  
千両ナスをはじめ、30  
あまりのテントの元で  
は地産地消を合言葉に  
販売。灘崎の生い立ち、  
干拓の歴史のパネル  
展、彦崎貝塚の歴史を  
後世に伝えるべく、縄  
文土器の講習会、今一  
度みなさんに伝えてい  
く為のまつりと銘打つ  
て実施。



灘崎中 吹奏楽部による演奏

なださきふるさとまつりに  
出会って早や11年の歳月が経  
ちます。今回のまつりで15回  
目ですが、過去13回は行政の  
手で実施されておりました。

区小唄（干拓の歴史を伝える  
唄）等、地域の皆さんのが参加  
型の祭り、又災害時に少しでも  
役に立てばと考え、起震車  
による地震の体験など、安全  
・安心の町づくりを実施して  
参りました。伝統文化を後世  
に伝えるべく頑張って参ります。

地元なださきの伝統である

幼保のおどり、灘崎中学校の  
吹奏楽の演奏、灘崎音頭、七

古い歴史はなく、昭和10年ま

では海だった。

干拓の計画は江戸時代から

あり明治維新後、資金難のため  
計画が進まなかつたが、これを引き受けたのは藤田組  
(現在のDOWAホールディングス) の創業者藤田伝三郎  
翁だつた。

干拓工事には莫大な資金と  
年月、そして高い技術が必要  
である。危険な事業に投資する者は無かつたが伝三郎は  
「国益にかなう」という理由  
で干拓事業に乗り出すことに  
したのだった。明治20年に干  
拓事業を出願したが、地元住  
民の反対などにあい、工事許  
可が下りたのは明治31年であつた。

塩害、洪水などの困難を乗り越えて完成したのは昭和33年で、着工以来65年の年月がかかっています。このようにして造営された土地は農地、工業団地、住宅地、商業地などとなり現在に至っている。

## 我が地域 歴史

南輝学区連合町内会  
副会長(築港ひかり町内会長) 渡辺 邦弘

南輝学区は、皆様ご存知のとおり児島湾の干拓事業により誕生した地域です。あまり古い歴史はなく、昭和10年まで海だった。

干拓の計画は江戸時代からあり明治維新後、資金難のため計画が進まなかつたが、これを引き受けたのは藤田組(現在のDOWAホールディングス) の創業者藤田伝三郎翁だつた。

干拓工事には莫大な資金と年月、そして高い技術が必要である。危険な事業に投資する者は無かつたが伝三郎は「国益にかなう」という理由で干拓事業に乗り出すことにしたのだった。明治20年に干拓事業を出願したが、地元住民の反対などにあい、工事許可が下りたのは明治31年であった。

塩害、洪水などの困難を乗り越えて完成したのは昭和33年で、着工以来65年の年月がかかっています。このようにして造営された土地は農地、

工業団地、住宅地、商業地などとなり現在に至っている。

また近年の新しい取組としてDOWAグループの発案で



さくらまつりのようす

クラブを立上げ、河津桜を5000本植樹するというプロジェクトを行っています。これも達成間近です。

このプロジェクトを盛り上げるのに「さくらまつり」「マラソン大会」「チャリティーゴルフ大会」などを地域住民と共に開催しております。さくらまつりには毎年約1万人の人が足を運んで下さっています。「夢を語る人がいて夢を叶えるみんながいる河津桜の花回廊」夢のようなイベントが現実となりました。時代を担う子供たちにすばらしいプレゼントを贈り、子供たちの健全育成、そして干拓で生れたこの土地が、さらに発展することを、地域で支援することをお誓いしたいと思います。

# 元気いっぱい フレッシュ朝市 弓削

瀬戸町弓削町内会  
会長 伊永 高明

トダウンが始まると弓削コンミユニティハウスの前に集まつたお客さんが9時の開店と同時に弓削地内で採れた新鮮な野菜などを買い求めていきます。

岡山市東区瀬戸町の弓削町  
内会は、岡山市の東の端にある人口280人の町内会です。

が流れ、東は熊山に囲まれた細長い地域で、弓削地区では昔から砂地を生かした大根や白ネギ、ごぼう、人参といった根菜類の生産が盛んで品質の良いものを多く市場に出荷しています。

しかし、折角良質な野菜を生産しても、地域の人の口には入ることが少なく、もつと地元で生産した野菜などを地域の人たちに提供できないかと始まつたのがフレッシュ朝市です。

毎月、第2日曜日に開く予定で今年の5月から始ました。この朝市も、6月で2回目を迎え、品数も豊富になつて徐々に活気が出できました。今まで、自宅で趣味程度に



毎月第2日曜日に開かれているフレッシュ朝市弓削

作っていた野菜を、自分で値段をつけてコミュニティハウ  
スに持つて来る人、市場に出荷する野菜などを持つて来る  
人など作る人の意欲と、買う人の利便性を兼ね備えた朝市  
になっています。

65歳以上の高齢者が40%を超え、ともすれば沈みがちになる弓削を元気にするため、この朝市は今後も毎月第2曜日に開いていきたいと思つています。

いつまでも元気いっぱいで働くことができる環境を作っていくことが弓削の力になります。

13

A group of about ten people, primarily women wearing hats and traditional-style clothing, are gathered outside a building with large windows. Some individuals are holding items like bags or bunches of flowers. The scene suggests a community event or a day trip.

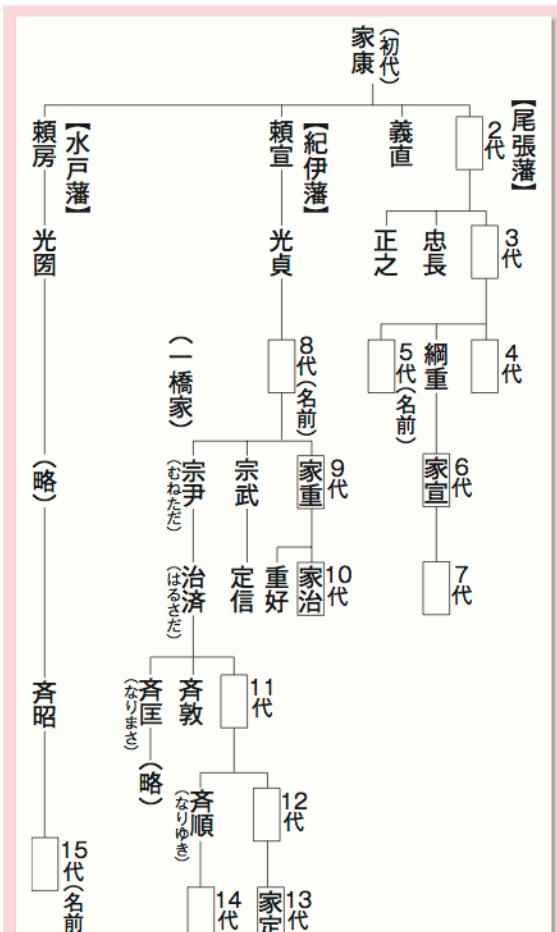
コトノ門

ア..家茂 イ..秀忠 ウ..家吉  
キ..家慶 ハ..家綱 才..家光 力..家繼

今回のクイズ

江戸時代とは、慶長8年（1603）に徳川家康が江戸に幕府を開いてから、慶応3年（1867）に15代将軍慶喜が大政奉還するまでの265年間を言います。徳川将軍家の家系図を次の方から選び、完成させてはがきに書いてお送りください。但し、5代、8代、15代は名前を入れてください。全10問  
（例：2代はア、5代は太郎、8代は花子、14代はイ）

〒住所を記入の上、下記までお送りください。  
〔送付先〕 〒700-18544  
岡山市北区大供一丁目1-1  
岡山市連合町内会 会報編集委員会  
〔締切〕 平成24年10月31日必着  
〔発表〕 発送をもつて代えさせていただきます。



# クイズ 徳川将軍家を完成させよう

参考文献 「江戸時代のすべてがわかる本」 大石 学 編著

# 防災先進地視察（静岡県焼津市）

岡山市安全・安心ネットワーク連絡協議会防災部会 部会長 澤本 孝

5月23日、ホテルの窓から

今までに見たこともない実に美しい靈峰富士を望め、幸先のいい研修会の予感とともに焼津港に到着。500トンもある大型かつお・まぐろ漁船が所狭しと停泊していました。その近くに焼津市役所が

あります。

津波の恐ろしさを感じさせる高い防波堤があり、津波避難タワーが設置されている様子を見出し、備えは出来ているなど一同早くもうなづきました。この度は、兼松久和岡

山市連合町内会長（岡山市安

全・安心ネット

ワーク連絡協議

会長）と同協議

会副会長岡恒夫

氏、西谷萬二氏

と小生、防災部

会長として同行

致しました。

市役所受付に

建設中の大型津

波避難タワーの

模型が展示さ

れ、また、来庁

される市民のた

めの緊急用ヘル

メットも用意さ

れていて、ここ

多くを学んだ研修会



でも市民を守る意識の高さにあります。

気づかされました。

いよいよ、交流会議に入りました。

焼津市連合町内会長

清水栄男氏、伊藤氏、阿部氏、

福興氏3人の副会長を迎えて

いただき、焼津市役所からは

総務部危機管理課長北川氏、

増田主任、今回の窓口担当と

してお世話を下さった木村氏、

河合氏の12名により会が進行いたしました。

まず、兼松会長が我が岡山

県は、実に穏やかで風水害も少なく「晴れの国岡山」と呼ばれているところであります

が、先の3・11東日本大震災

以来、市民の防災意識が変化しているところです。まだまだ低い意識で町内会においての自主防災組織率も低く、この度全国的に最も先進的な活動を取り組んでおられます御地をお尋ねし、つぶさに現状を拝見し、種々の取り

組みについてご教授頂きますれば幸いであります、とあいさつされました。

参加ください

ました4人の所

属町内会ではす

でに防災マップ

を作成、全戸に

配布し防災訓練

に活用してい

るとの報告があ

り、参考に頂戴

して帰っています。

さて、焼津市での取り組みについては、危機管理課増田

氏より拝聴いたしました。焼

津市では東海地震説の叫ばれ

た1976年以来、市民に自

主防災組織の結成を呼びか

け、1978年までの3年間

をかけて全市民を対象とした

組織の結成を推進し、市内全

域での79の自主防災組織作り

を完了しておられることがあります。

特別に新たな事を始めるのでは

なく、私達が長年培ってきた

町内会のみんなと共に協力し

ていく助け合いの精神から自

主防災会を立ち上げていく事

が出来るのではないかと大きな示唆を頂きました。出来上

がった組織への継続した支援体制もとても大切にされておりで、自治会長などの役員が



津波避難タワーの模型



避難を呼びかける看板と待避施設



地域活動について意見交換

中心部では婦人会からの脱会が多い。愛育委員会は行政と

当会役員からは、例えば、

団体会長に、お祝いの花束を贈呈しました。

そうした和気あいあいの雰

囲気の中で地域福祉の推進、

災害に強いまちづくり等につ

いて意見交換を行いました。

今後、地域の実情を熟知し

た町内会と婦人会が協力して

災害に強いまちづくり、人づ

くりを進めていきたいと考え

ます。

比較的災害の少ない岡山で

すが、大きな災害に見舞われ

たときには、日頃より地域活

動の中心にいるわれわれ町内

会の担う役割が大きなものに

なります。

今後、地域の実情を熟知し

た町内会と婦人会が協力して

災害に強いまちづくり、人づ

くりを進めていきたいと考え

り、各種の補助制度も準備されています。人的な対応でも地域に出向いてのものであり、行政、市民の一体感の大切さを教えられました。これらの取り組みについては、岡山市の今後に大きく期待したいと思います。

また、このようなお話を伺いました。過去の災害事例から観ても大規模災害時の行政の対応力には限界があることは明らかで、市民自らが「自分の命は自分で守る」「自分の地域は自分たちで守る」この自助、自衛及び共助、その上にももちろん重要な公助の力であり、そのためには、行政からの支援は、継続して参りますとの力強い考えに共感します。

は、内陸部に立派な焼津市防災センターが建設されており、多くの食料、水、避難器具などの備蓄倉庫にもなっています。先の3・11の際には、いち早く対策本部が設置され、本部長である市長自らが終日指揮を執られ、「14万市民の生命、財産を守るのが市長に与えられたもっとも重要な使命です。」と話された研修は実に時宜を得たものと感謝すると共に、今後の部会に活かしたいと考えております。

去る6月14日岡山市連合婦人会役員と岡山市連合町内会役員との懇談会を岡山シティホテルで開催しました。連合婦人会から正副会長、理事の計9名のご出席をいただき、当会からは正副会長、常任理事、監事の計10名が出席しました。

石尾玲子会長就任後初の懇談会となつた今回、その冒頭で兼松会長から石尾連合婦人会会長に、お祝いの花束を贈呈しました。

連合婦人会からは、地域のために活動するボランティアのなり手が少ない。婦人会の会員が減少することにより、組織が弱体化し、地域での活動にも支障が出ている。何とか町内会に協力してもらえないだろうかという切実な声が寄せられました。

のつながりが強い。愛育委員会と兼ねていて地区は婦人会活動も活発であるなど連合婦人会の組織について多くの意見が出ました。

また、連合婦人会、愛育委員会、栄養改善協議会などの女性団体連絡協議会を作った意見が出ました。

## 岡山市連合婦人会との懇談会

りました。過去の災害事例か

ら観ても大規模災害時の行政

今後の岡山市に於ける防災対策に大いに期待いたします。

駿河湾に面した焼津市では、内陸部に立派な焼津市防災センターが建設されており、多くの食料、水、避難器具などの備蓄倉庫にもなっています。先の3・11の際には、いち早く対策本部が設置され、本部長である市長自らが終日指揮を執られ、「14万市民の生命、財産を守るのが市長に与えられたもっとも重要な使命です。」と話された研修は実に時宜を得たものと感謝すると共に、今後の部会に活かしたいと考えております。

去る6月14日岡山市連合婦人会役員と岡山市連合町内会役員との懇談会を岡山シティホテルで開催しました。連合婦人会から正副会長、理事の計9名のご出席をいただき、当会からは正副会長、常任理事、監事の計10名が出

## わが故郷「大宮学区」

大宮学区連合町内会 会長  
近藤俊彦

我々の学区は、岡山市の東端に位置している。

喜式神明帳にも記載されおり、備前国では最高の社格を誇り、大宮の地名の拠り所になつたとも言われています。

わが故郷には、次の二つを外しては語れないものがある。

一、我が国福祉事業の先駆者である「石井十次」が明治中期、貧困に苦しむ母親から8才の男の子を預かった「お太師堂」が当時のまま残されており、岡山孤児院発祥の地として、岡山市市跡に指定さ

そして彼の生涯にわたる功績は松平 健 主演「石井のおとうさんありがとう」の映画になり、全国各地で反響を呼び、今も遠くから「お太師堂」を訪ねて来られる方もおられます。



岡山孤児院発祥の地  
(孤児第一号 前原定一を預かった太師堂)

お年寄りに対する「学区独自の大宮プラン」等、民生、愛育、P.T.A、老人クラブ、町内会・・等々、地域に於ける各種団体の一体となつた活動により、平穏で安らぎのある、そして安心して暮らせる、住みよい学区づくりを目指しております。

平安時代中葉10世紀頃になると鹿田遺跡は周囲の河川や井戸を囲む建物群や文字資料が出土した鹿田遺跡と微高地に2つの集落が興り、大型田の莊成立間もない頃、推定域が出土した鹿田遺跡と「鹿田条理」方向に走る溝が発掘されました。

土地の地割方向から想定され  
てきた莊域には、新道遺跡  
(清輝小学校)、鹿田遺跡(岡  
大鹿田キャンパス)、鹿田本  
町遺跡(県立岡山病院)、大  
供本町遺跡等が東西に並んで  
います。其の遺跡群をそれぞ  
れ別々の研究グループにより

※写真は岡山市教育委員会提供  
岡山大学理蔵文化財調査  
研究センター

な集落新道遺跡 清輝小学校  
が出現しました。鹿田の荘は  
藤原氏の荘園で年貢米は藤原  
氏の氏寺興福寺や氏社大原野  
社の法会祭礼費用などに充て  
られていました。

内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・神経内科・  
心療内科・泌尿器科・皮膚科・ペインクリニック内科・  
精神科・外科・整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・  
形成外科・放射線科・リハビリテーション科

**診療時間** 平日 午前9時～12時 午後1時～7時  
土曜日 午前9時～12時

**休診日** 土曜日午後・日曜・祝日  
(但し急患はこの限りではありません)

<http://www.kousei-np.or.jp>

岡山市北区厚生町3丁目8-35  
(岡山商工会議所向側)



岡山商工会議所向側 駅より10分

# 花で飾る清輝橋 清輝学区花いっぱい運動

清輝学区連合町内会 会長 岡村 耕輔

清輝学区はその昔、岡山市の中心部に位置し、学区の中を国道30号線が南北に走り、一昔前までは四国へ向う車で全国でも有数の車の多い処でした。また、岡山大学の付属病院があり、電車の清輝橋線の終点駅と相俟つて商店街も大変な賑いのある町でした。小学校の前にある横断陸橋も日本で一番古いのでは、と云われており、当時の岡崎市長がたびたび建設省に出向きお願いした結果と聞いておられます。

瀬戸大橋が開通して以来玉野市を経由して四国へ行く車が一時少なくなった様に見えましたが、南部の田園地帯の開発による住宅の増加により再び通過する車が多くなり、また電車を利用する人も喜んでいただける様にと学区内有志の人で清輝橋交差点に色々

の花を植え、明るくきれいにする活動をしております。国土交通省も大変協力をしています。

ただ、時には学区町内会の希望を聞き花の配付を行っています。清輝小学校の児童にも花を愛する心を覚えてもらいます。

うべく、学校とPTA、地域で協同作業として校庭の一部に芝植を行い、いずれ芝化を進める様活動しています。

芝を植えることにより夏涼しく、また、緑の中裸足で子供が走り廻る夢を描いています。清輝学区を花で飾り明るい、きれいな地域にする様に



花植えのようす

藩祖光政公は、納涼の地として何度もここを訪れました

が、領民を煩わすことのないよう、ただ幕を張るだけの簡素なしつらえで過ごしました。その仁愛の誠心は歴代の藩主に受け継がれて、繼政公



甘棠碑（左）と遺愛碑（右）

岡山城から旭川の上流約5kmの岡山市北区中原は、旧藩主池田侯の「仁政」を物語る聖地の一つです。牧石学区

の誇りです。

と喜び称えています。

明治の廢藩と昭和の敗戦など、激変した時世の打撃を受けながらも、この聖地は二基の碑とともに、地域の人々によって守られてきました。光政公の事績を伝えるとともに、この御涼所跡が郷土の誇るべき歴史や文化を知る場として受け継がれることを願っております。お近くに来られた、寄ってください。

# 池田光政公御涼所跡 甘棠碑と遺愛碑 「梅」碑

牧石学区連合町内会 会長 廣田 省吾



岡山市農業協同組合

JJA岡山は  
『ありがとう伝えて広がる協同の和』を合言葉に  
次世代農業従事者はもとより、JA事業をご利用の方々へ  
広く組合員加入を推進しています。



岡山市農業協同組合  
〒700-8535 岡山市北区大供表町1番1号  
TEL(086)225-3251 FAX(086)225-9878

## 朝の「おはようございます」が自分の存在をアピールする

旭操学区連合町内会 会長 徳田 忠顕

朝の出勤や通勤の時に、最初に会った人から「おはようございます」と爽やかに声をかけられると、それだけで一日の気分が変わります。

憂うつな気持ちがちょっと晴れて、「よし、頑張ろう」という気になつてくるものです。

気持ちよく挨拶のできる人に人付き合いが苦手だという人は少ないと思います。

それほどよく知っている間柄でなくとも、相手から「おはようございます」と笑顔で声をかけられると、悪い気分はしません。

むしろ、「あの人、1回しか会ったことがないのに、私のことをちゃんと覚えていてくれたんだ・・・」とうれしくなり、次回、顔を合わせた時に「ああ、ここにちは」と自然に会話が始まることになります。

もし、その時挨拶もなく知らんぷりして通り過ぎたとしたら、こちらから声をかけようという気も起こりません

し、いつまでも仲良くなるきっかけをつかめないのであります。

「たかが挨拶」かもしれないが、これを続けるだけで人の輪が自然に広がっていきます。

しかも、「この人はいつも爽やかに挨拶してくれる、感じのいい人」というイメージを植えつけることができますから、人付き合いもうまくいくのです。

住民同士が仲良く挨拶を交わし合っている地域では犯罪が少ないという話を聞いたことがあります。

空き巣や暴漢も、どこを狙うか事前にリサーチするそうですが、そのような住民同士のつながりが深い地域では敬遠したくなるでしょう。挨拶は自分がしても気持ちいいし、相手に返されるともっと気持ちがいいものです。

その上犯罪防止にも役立つているということです。挨拶が自分の存在をアピールしているということです。

芳明小学校創立30周年記念式典

## 三十周年節目の年に

芳明学区連合町内会 会長 伏見 公誠

岡山市の連合町内会は今年五十周年を迎えるが、私たちの芳明学区は昨年、三十周年を迎えたばかりの、市内では新しい学区である。

昨年の十月に、芳明小学校に大勢のご来賓や関係者の方をお招きし、盛大に記念式典が開催された。

高々三十年という歳月では有るが、創立前の準備にご尽力頂いた方々、創立後ご苦労された方々、三十年の年月の流れの中、明るく住み良いまちづくりの為、種々の立場からご努力を頂いた沢山の方々が居られたからこそ現在の芳明学区があるという事を、節目の年にあたり改めて思い起

ることとなるだろう。行政との連携を取りながら、地域住民の皆さんと協力し、安全・安心のまちづくりを進める事、又後進の方々に託していくよう、いつまでも住んで良かったと言つて頂ける芳明学区を築き上げて行きたい。

今後、先人の方々の住み良いまちづくりに対する強い思いの三十年を礎に、現在活動を行つてゐる我々が協力し合ひながら、より住み良いまちづくりを進めて行かねばなら



芳明小学校創立30周年記念式典

**第13回 岡山市民と医師会の集い 健康市民おかやま21[~みどりを考え~]**

10月28日(日) 岡山衛生会館 岡山市中区吉原町  
午前11時~午後4時

5階 中ホール 健康検査・栄養指導  
会議室 防災避難・在宅介護相談(みどり)  
医療相談(青)

1階 リハビリ・健康相談  
3階 紀念ホール

特別講演会 午後1時(認講券が必要です)  
「平穏死のすすめ」  
~いはらまくべくなくたどりどうしますか~  
石飛 幸三氏  
ギター・マンドリン 演奏スペランサ 午後5時半

入場無料  
どなたでもおけます

手のひらに、明日をのせて。  
**NTT docomo**

株式会社 NTT ドコモ 岡山支店  
<http://www.nttdocomo.co.jp/>

電設資材・照明器具・電線・配電盤・防災火報機器・制御機器  
通信機器・床暖房機・住宅設備機器・エアコン・空調・LED照明  
太陽光発電システム・デジタルテレビ・オール電化機器・総合防

子育て、高齢者福祉、環境美化、交通安全、防火、防犯、防災等々あらゆる問題に対応して行かねばならない。また、私たちの学区には、岡山市の焼却施設のひとつである当新田環境センターが有り、現在マスコミで報じられている震災がれきの問題も関わってくることとなるだろう。

ナソニック株式会社代理店  
バナソニック株式会社代理店  
古河電気工業株式会社代理店

**赤木電機株式会社**

電材卸部：岡山市北区問屋町19-102(岡山県卸センター内)  
☎ (086) 243-2111 (代) FAX 243-7941  
本社：岡山市北区中山下1-6-55(柳川交差点南)  
☎ (086) 222-8111 (代) FAX 224-1459

# 福山市自治会連合会訪問

岡山市連合町内会 常任相談役 岡 恒夫

台風4号が接近の6月19日

り質問し情報聴取に努めた。

記念誌は、A4判186

兼松会長以下7名は福山市を訪ねた。同市では福山市自治会連合会を中心に各種団体などと検討を重ね「協働のまちづくり指針」を策定し、2006年を「協働のまちづくり」元年

と定め指針に基づき具体的な取り組みを実施しています。

福山市自治会連合会 貝田哲郎会長、副会長、事務局等6名と親しく懇談した。

同会は平成24年2月15日午後1時から4時30分まで、ふくやま芸術文化ホール

大会次第では特に目新しい

ものは見当たらないが「市民憲章」を唱和し、記念誌巻頭に掲載するなど、その取り組みは一考に値する。

(2000名収容可)に関係者約800名が集い、創立40周年記念大会を盛大に開催された。

我々岡山市連合町内会は、現在創立50周年記念大会(平成25年2月1日)に向けて、実行委員会を立ち上げ着々と計画を進めているところであります。

記念講演は福山市立大学学長 稲垣 卓先生による「福

山市立大学の開学――地

域に貢献する大学をめざし

計画を進めているところであります。

参考にするため詳細にわた

アトラクションは広島県警察音楽隊による演奏と「安全安心なまちづくり」のミニ講演

トケース入りの立派な装丁紙、脊平に金箔押し、クラフト紙、脊平に金箔押し、クラフト

で、1650部作成配布して

いる。

当会でも記念誌編纂委員会により検討しているところであります。

懇談後、福山城公園内の福寿会館で郷土料理「福山うずみ」(注・

御飯に少し道具が隠れ、出し汁をかけた茶漬け風呉)のお

もてなしを

うけ、賞味しながら会われた。



福山市の取り組みを拝聴

により市議会議員6名減・定数40名となっている。小学校毎に公民館が設置されコミュニティの核として活発に活動されている。

会報(A3二つ折り4ページ)

は年2回発行し従来は回覧していたが、各戸配布することとしている。

など話に花は咲いたが、折角の「薔薇のまち」も薔薇は時季が終わっており残念でした。

など話に花は咲いたが、折

角の「薔薇のまち」も薔薇は

時季が終わっており残念でした。

**医療法人  
毛利歯科医院**

〒702-8006 岡山市中区藤崎402-2  
☎(086)277-1182

診療時間／AM9:00～12:00  
PM2:30～6:30(土曜日は、PM5:00まで)  
休診日／日曜日・祝祭日、水曜日午後

**岡山商工会議所**

会頭	岡崎	昭大
副会頭	若林市田	彬吾藏久一
副会頭	古松持	誠
副会頭	剣窪津	
副会頭	持	
専務理事	窪津	

住みよい世の中づくりをする教団です

**念法眞教  
岡山念法寺**

〒701-1144  
岡山市北区柏谷1595-1  
TEL:086-294-4503  
<http://www.nenpoushinkyou.jp>

# 会報編集委員長座談会

## ～会報第20号の発行を迎えて～

平成11年3月創刊の岡山市連合町内会会報（創刊当時の名称は「おかやま連町だより」）が今号で20号を迎えた。



創刊号から19号まで

目、『成人』を迎えた会報の歴史を振り返り、更なる飛躍につなげることをねらい、去る8月8日に座談会を開催しました。その様子をご紹介します。

近藤・片山さんは、8号から15号まで長きにわたり編集委員長をお務めいただきました。

黒住・当初は年1回の発行で、ごくありふれた内容で連合町内会長が自分の地域の自慢話を書くことが多かつたですね。当時は写真のお好きな熊代副会長が後楽園や最上稲荷、吉備津神社など熱心に写真を撮つてくださり、表紙を飾つてくださいました。その点は大いに助かりました。

片山・原稿も色々なものが出でてきて、大幅な修正をお願いすることもありました。電話一本で終わるところかもしれないが、事務局と一緒にご本人に会いに行き、修正をお願いしたことは大変印象に残っています。また、引き受けさせていただいたのち、書き慣れないためか、ご本人が大変お困りになつて、それではインタビューさせてもらえます

学区が見て参考になる記事をお願いしようということになりました。ただ、皆さん堅苦しい記事、ニュースを読むと疲れます。その中で、コラム欄を入れて休める記事を入れたらどうかと、私も高松の水攻めのことを書いたことがあります。ポンと気が抜けるものがほしいと考えたものです。

時間が長くかかりました。我々は素人で、作り上げようと思うと大変な苦労がありました。

近藤・岡さんは、副委員長、編集委員としてもずいぶん長く携わっておられますね。

岡・私が編集委員長の時からページ数が増えました。原稿の執筆をずいぶん前にお願いしていたにもかかわらず、締め切り直前になつて「忙しくて書けない」と言われ、仕方なく自分で書いたこともあります。そのときは事務局もずいぶん慌てていました。こういうことの経験がないので、いい勉強をさせてもらつたと思います。

座談会参加者	
岡山市連合町内会 会長	池上 正和
第4号編集委員長	黒住 小弥太
第5号編集委員長	横山 洋
第6、7号 編集委員長	塩飽 幹廣
第8～15号 編集委員長	片山 晋
第16、17号 編集委員長	岡 恒夫
第18号編集委員長	片山 晋
第19号編集委員長	塩飽 幹廣
第20号編集委員長 (進行役)	近藤 俊彦
第20号編集委員 名譽会長	岡村 省吾
岡山市連合町内会 兼松 久和	耕輔
近藤 俊彦	良俱 好和
廣田 省吾	定廣 好和
岡村 耕輔	恒夫 晋

本会では、地域の安全・安心を守る諸活動をはじめ様々な事業を開拓し、さらに、これまで以上に開かれた組織となることを目指し、広報活動の充実・強化を最も重要な事業のひとつに掲げ取り組んでいます。平成19年度からは、会報の発行を年2回とし、約30万世帯に回覧しています。

このたび、第20号発行の節や思い出話、今後の会報に寄

せる期待などをお話ししていただきたいと思つています。

池上・会報もやつと『成人』になりました。編集委員長当時の苦労話などをざつとばらんにお聞かせください。

近藤・片山さんは、8号から15号まで長きにわたり編集委員長をお務めいただきました。もうひとつは、地域の話題を「学区・地区の動き」として掲載していましたが、どこも似たようなことをやつていて中で、特徴が出せないと呼びかける中で、会長方の書く視点がはつきりしてきて地域のオンラインを書いてくださいました。さるようになつてきました。

塩飽・敬老会、運動会の記事のオノリーワンを書いてくださいました。どの学区もやつてている中で、よその学区もやつていている中で、よその

かと、延々3時間話された内容を整理して文字にしたことあります。

**分島**・私の場合は、連合町内会の活動に参加して間もなくのこと、兼松会長のご指導や委員の皆さんとの協力のおかげでなんとか会報を完成させることができました。安全・安心ネットワークについての記事を入れたり、電子町内会への参加を呼びかける内容を掲載したりしました。

**定廣**・私は委員としては16号から参加しました。若輩者に試練を与えていただいたのでしょう、大先輩8名の中で採まれた記憶があります。16号から少しやわらかく、読みやすく、魅力あるものにしようと話題になつたことを覚えてます。自身、コラム記事を書くことになつて、肩に力が入つてしまい、コラムにしては文字数が多く苦言も頂戴しました。

**近藤**・編集委員の方々の構成は、どういう基準で任命されたんですか。

兼松・基準は私の頭の中にあるります。そのときの状況を見ながらお願いしたこと

あります。

会の活動に参加して間もなくや委員の皆さんとの協力のおかげでなんとか会報を完成させることができました。安全・安心ネットワークについての記事を入れたり、電子町内会への参加を呼びかける内容を掲載したりしました。

**近藤**・貴重な経験、大変勉強になりましたが、私も委員に入つてから、副委員長、委員長と会社の中でこれくらい出世できれば給料もずいぶん上がるだろうと思いながら大役を務めさせていただいています。(笑)

**黒住**・苦労もありましたが、ものすごく勉強になりましたが、ど、このくらい厳しい編集委員会はないのではないかと話題になつたことを覚えてます。自身、コラム記事を書くことになつて、肩に力が入つてしまい、コラムにしては文字数が多く苦言も頂戴しました。

**定廣**・せつかく皆さんが苦労された会報を私は電子町内会にリンクさせることを是非しました。

**近藤**・貴重な経験、大変勉強になりましたが、私も委員に入つてから、副委員長、委員長と会社の中でこれくらい出世できれば給料もずいぶん上がるだろうと思いながら大役を務めさせていただいています。(笑)

**黒住**・大変でしようが、できるだけ多くの市民に読んでいただく努力をしていかなければなりません。

**岡**・職場のOB会でも、会報

民とともににある連合町内会の会報としては市民と接する機会をもち、電子町内会で見ることができるようすればいいですね。

**副委員長**から編集委員長にとては、印刷も手作業でコピーしていました。

**横山**・ぜひやつていただきたいです。

**近藤**・前向きに課題としているうちに深みにはまってしまいます。市民に対して、ともにある、ということを強調しなければいけないと思います。

**兼松**・最近の会報は充実してきました。そもそも、市連合町内会の広報活動の一環として始めたものです。当時は隔世の感がありますが、前があるから今がある、という視点で見ていただきたい。今後は、読書欲をそそるような記事が求められますね。

**片山**・先日、「会報は連合町内会の顔になった。立派になつたなあ。」と言つてくださいました。

**兼松**・ありがたいことです。

**岡**・自分の興味があることではありません。今は回覧で、個別配布はバラつと見て読んでください。

**岡**・本日は貴重なお時間をありがとうございました。最後に兼松名誉会長から今後の会報に対するお言葉を。

**近藤**・年2回の発行は編集作業も大変ですが、池上会長には更なる充実に努めていただきたいと期待しています。市民が必ず読まなければいけないと思うような会報にしていくことを楽しみにしています。

**更に**内容の充実した会報が続いていることを楽しみにしています。

**岡**・職場のOB会でも、会報の話が出ます。会報を読んで初めて市連合町内会の存在を知ったという人もいます。

**定廣**・任意の団体ではありませんが、ある程度認知された状態になつてくると、例えば16号掲載の「議員定数と報酬」のように見解をアピールすることも必要だと思いますね。



和やかに懇談

# 宇喜多秀家公ゆかりの地

（岐阜県揖斐川町との友好交流をめざして）

ゆかりの地との交流及び郷土史研究委員会

副委員長 黒住小弥太



揖斐川町役場にて

五右衛門重昌の救命なくしてはその後の現鹿児島県垂水市での潜居、久能山幽閉、八丈島流刑へと続く秀家公の波乱の人生は語れない。

時代背景を語る資料を鑑賞した後、古戦場の雰囲気を彷彿させる深林に囲まれた秀家公陣跡を訪ねた。周辺には東西陣跡を訪ねた。周辺には東西軍営の武将の陣跡が点在し、古戦場をめぐるコースとして整備されているようである。

翌29日揖斐川町役場において

宗宮町長、富田同副町長、大江同総務部長の行政関係者同席の下、揖斐川町行政推進員連絡協議会山口敬次会長、瀬川堯之白樺区長と秀家公を縁とする友好交流について懇談を行った。岡山市と揖斐

戦国の雄、岡山の開祖宇喜多秀家公と揖斐川町との歴史的縁は未来永劫に続くものであり、我々住民自治組織同志が友好交流を結ぶことにより、子々孫々に川町との地縁の

地、矢野家31代当主矢野紀雄氏宅のある白樺を訪問する。時間の関係で氏宅を訪問することは出来なかつたが、伊吹山麓の当地周辺をめぐり、秀家公の夢と散つた戦国時代に思いを馳せた2日であつた。

春近しとはいえ未だ肌寒い  
2月28日～29日、兼松会長、  
池上副会長、岡本事務局次長  
と私四人が、関ヶ原の戦いに敗れた秀家公を匿い、八丈島への流刑に至る人生の出発点となつた揖斐川町を訪問した。

懇談に先立ち前日28日に  
関ヶ原歴史資料館にて当時の

現揖斐川町白樺の郷士矢野  
と共通の目的を

得る。



関ヶ原 秀家公陣跡

持つて今後内部で協議をしていきたいとの所信を得た。併せて行政も側面援助したいとの言質をいただく。

揖斐川町は、村合併により

面積803平方キロメートルと岡山市より広く、人口は2万4千人余で面積の92%を山林が占め、山間部は限界集落

も点在することである。そうした町勢の中で古来から伝承される伝統芸能や神事が多く保存され、これから町の振興は豊かな自然と併せた観光産業に力を入れている。

懇談に先立ち秀家公匿居の地、矢野家31代当主矢野紀雄氏宅のある白樺を訪問する。時間の関係で氏宅を訪問することは出来なかつたが、伊吹山麓の当地周辺をめぐり、秀家公の夢と散つた戦国時代に思いを馳せた2日であつた。

**Miyoshi**  
DELICATESSE-COMMUNICATION  
Patisserie et Patisserie

お弁当のことなら なんでも ミヨシノ

おかやまミヨシノ  
〒702-8002 岡山市中区桑野131-6 ☎ (086)200-1717

えきまえミヨシノ  
〒700-8552 岡山市北区駅前町1-3-3 ☎ (086)232-3344

フリーダイヤル ☎ 0120-35-3355

**社会福祉法人 鷺山会**  
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

**岡山シリバーセンター**

〒701-1345 岡山県岡山市北区新庄上545-1  
TEL 086-287-5111 FAX 086-287-5005

■ 岡山シリバーサービスセンター  
■ 岡山シリバー在宅介護支援センター  
■ ケアハウス ゆうステイ 岡山

クレド岡山 20F 光あふれるギャラリー  
**CRED Sky Gallery**  
ギャラリー会員募集中！

ギャラリーご利用予定の方を対象にギャラリー会員を募集しています。  
(入会金、年会費無料)

通常 63,000円  
半額

◆会員特典◆  
・ご利用料金 31,500円  
・クレド飲食店 券引クーポンなど

お問い合わせ先  
クレドオフィスギャラリー担当 TEL: 086-212-2500 (平日 10:00~18:00)

- ・定期総会（関連記事P.3）  
(5月28日)
- 正副会長会議  
(5月31日)
- 理监事会  
・臨時（4月20日）  
芳泉中学校区からの役員候補者の推薦 他  
第1回（5月11日）  
平成24年度事業計画（案）他  
第2回（5月24日）  
副会長等の選任について  
第3回（6月28日）  
上道中学校区からの役員候補者の推薦 他  
第4回（9月11日）  
会員視察研修について 他
- 常任理事会  
・第1回（4月10日）  
芳泉中学校区からの役員候補者の推薦 他  
第2回（5月11日）  
平成24年度事業計画（案）他  
第3回（5月24日）  
副会長等の選任について  
第4回（9月11日）  
会員視察研修について 他

- 創立50周年記念事業実行委員会  
・正副委員長会議  
（6月12日）  
実行委員会  
（5月10日）（6月28日）  
・総務部会  
（5月14日）（7月12日）  
・事業部会  
（5月14日）（7月12日）  
・企業協賛等検討委員会  
（5月14日）（7月12日）

- 懇談会  
（8月3日）  
・記念誌編纂委員会  
（5月7日）（9月7日）
- 常任理事会構成員による視察研修（札幌市）  
（関連記事P.8）  
（5月15日～18日）
- 三市自治組織婦人会役員との懇談会  
（姫路市）  
（関連記事P.9）  
（5月30日）
- 岡山市連合婦人会役員との懇談会  
（福山市）  
（関連記事P.19）  
（6月19日）
- 創立記念事業視察研修  
（9月3日）  
ICT推進専門委員会  
（6月13日）
- 岡山市栄養改善協議会役員との懇談会  
（6月26日）  
男女共同参画専門部会  
（9月28日）



懇談会のようす

## 岡山市連合町内会の動き

- 会計監査会議  
（5月8日）（7月23日）
- 専門委員会  
会報第20号編集委員会  
（4月16日）（6月4日）  
（7月20日）（8月17日）  
（9月3日）

- 常任理事会構成員による視察研修（焼津市）  
（関連記事P.14～15）  
（5月22日～23日）
- 理事会（総会）  
（5月28日）  
10年以上学区・地区連合町内会長の職にある方またはあつた方：2名（表彰状）  
15年以上単位町内会長の職にある方またはあつた方：14名（表彰状）

- 岡山商工会議所正副会頭との懇談会  
（7月23日）
- 受賞報告  
（7月23日）  
◇永年勤続町内会長・区長等岡山県知事表彰（5月24日）  
・岡山市関係：12名

- 県婦人協議会との懇談会  
（9月3日）
- 全国自治会連合会の動き  
（9月3日）

- 岡山商工会議所正副会頭との懇談会  
（9月3日）
- 常任理事会  
（5月22日）（千葉県市川市）  
6月3日（兵庫県姫路市）

- 事務局担当者会議  
（6月21日）（千葉県市川市）  
6月6日（東京都）
- 藍綬褒章伝達式  
（6月20日）（盛岡市）
- 要望書提出  
7月18日（東京都）
- 定期総会（7月19日、久米南町中央公民館）  
全国知事会等へ住民自治連合組織設立への支援等について要望書を提出しました。
- 地縁による団体功労者総務大臣表彰候補者選考委員会  
平成24年度事業計画等の審議
- 県知事と正副会長との懇談会  
（9月3日）

## 岡山県自治会連合会の動き

- 定期総会（7月19日、久米南町中央公民館）  
全国知事会等へ住民自治連合組織設立への支援等について要望書を提出しました。
- 地縁による団体功労者総務大臣表彰候補者選考委員会  
平成24年度事業計画等の審議
- 藍綬褒章候補者選考委員会  
8月23日（東京都）
- 要望書提出  
8月23日（東京都）

創立50周年

## 記念事業を

岡山市連合町内会は、昭和38年2月に岡山市連合町内会協議会として23学区により発足し、今年度95学区・地区連合町内会となり創立50周年を迎えます。

- ・学区・地区の活動紹介
  - ・お祝いのことば
  - ・活動の歩み・表彰者名簿
  - ・協賛企業名簿
  - 他



すでにご承知のとおり兼松久和会長の突然の辞任を受けまして編集委員も困惑致しましたが、しかし永い歴史に育まれた貴重なご教示にお応えするべく、編集委員一同、誠心誠意取り組みましたのでご評価くださいませ。

終りになりましたが、厳しい経済環境の中につつてご協賛を賜りました各社並びに広告募集にご苦労下さいました各位に衷心より感謝申し上げますとともに、ご寄稿、ご執筆のご協力くださいました多くの方々に、厚く御礼申し上げ編集後記と致します。

このたびの会報は、平成11年3月「おかやま連町だより」とした創刊以来の記念すべき20号であります。成人を迎えた創刊以来の記念すべき20号であります。成人を迎えた充実した内容に、そして奇しくも創立50周年を迎える記念の会報となりました。

編集後記

編集副委員長 灑本 孝

● 単位町内会長ほか町内会関係者へご出席の案内を予定しています。多数の参加をお待ちしています。

